

2) 御所地区



I ■ 地区の将来像（20年後に実現したい姿）

遊びと癒しの都・御所 ～打ちあげようみんなの夢～

御所地区には、御所湖や鶯宿温泉のほか、クロスカントリースキー場、ゴルフ場等のスポーツ施設や、雫石町歴史民俗資料館など、優れた自然資源や交流・レジャー施設があります。これらの地域の資源を、住んでいる私たちが暮らしの中で楽しみ、また地域外の人にも楽しんでもらい、交流を通じて、御所の魅力を満喫できる地域づくりをすすめます。

II 人口の予測

御所地区の人口は、2015年現在3,358人で、そのうち65歳以上の高齢化率は36%となっています。人口は減少を続けており、このまま推移した場合、10年後の2025年には2,853人、2040年には2,176人まで減る予測です。特に働く世代（15-64歳）が著しく減少します。



図 御所地区の将来人口（推計）

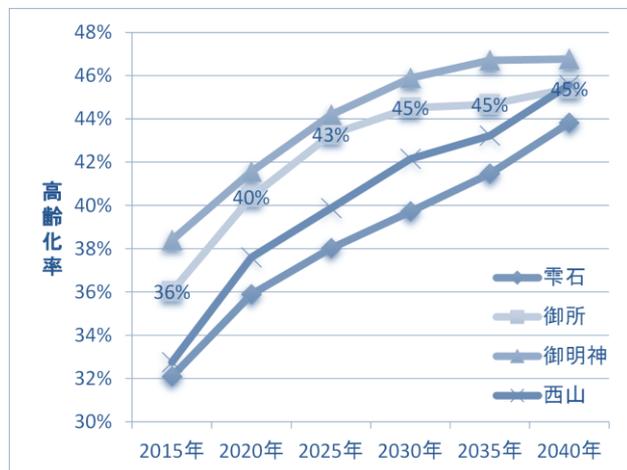


図 高齢化率の推移（推計）

III 地域の特性と現状

1. 地域の特徴

- ・南川をはじめとする清流や御所湖、逢滝、蓮滝などがあります。
- ・水田を中心とした農地と南部に広がる山々が地域の大部分を占め、各地に農業集落地が形成されています。
- ・2010年の国勢調査によると地区の就業人口割合は第1次産業が21%、第2次産業が17%、第3次産業が62%です。
- ・13の行政区からなり、世帯数が多い鶯宿、天戸、安庭行政区は100世帯以上、世帯数が少ない外柵沢、町場、九十九沢、矢櫃行政区は20世帯前後と行政区ごとにはばらつきがあります。
- ・子育て・教育施設としては、大村小学校、南畑小学校、安庭小学校の3つの小学校がありました**が、平成29年4月に3校が統合し御所小学校の1校になりました。**保育施設は御所保育園、大村へき地保育所の2か所あります。
- ・開湯450余年の歴史を持つ鶯宿温泉があり、観光客等の宿泊拠点となっています。
- ・地域内にはクロスカントリースキー場、ゴルフ場等のスポーツ施設や県立御所湖広域公園、雫石町歴史民俗資料館など、様々な施設があります。
- ・公共交通手段としては、盛岡と雫石を結ぶ路線バス繋鶯宿線のほか、町内を運行するあねっこバスがあります。

2. 地域の活動・行事

- ・大村山祇神楽、安庭あやつり人形芝居（中断）などの町指定無形文化財や戸沢さんさ、南畑堰賛太鼓など地域の伝統芸能継承活動が行われています。
- ・各集落に点在する神社の祭りや、地域で組織した団体による農業や環境保全活動が地区全体で行われています。

IV 地域の強みと弱み

1. 地域の強み

- ・全行政区にそれぞれ地域コミュニティ組織が形成され、自主防災活動および見守り活動が行われています。
- ・町歴史民俗資料館や戸沢氏発祥の地と言われる沼田神社があり、伝統芸能が継承されているなど歴史的な地域遺産があります。
- ・御所湖や地域の南部に広がる森林は貴重な資源であり、地域住民の生業や訪れる人々に憩いと安らぎを与えるレジャー施設も多数あります。
- ・県道1号沿いの片子沢集落には交番、郵便局、スーパー、コンビニ、ガソリンスタンド、保育園があり、地区の生活の拠点となっています。
- ・歴史ある温泉地である鶯宿温泉があり、町内外から湯治や観光に多くの人々が訪れます。また、地域で人気の食事処も多く、地元の人々に親しまれています。

2. 地域の弱み

- ・コミュニティ活動は普段から行われていますが、世代間の交流や地域のイベントが少なくなってきました。また、参加者不足やイベント開催における運営体制にも課題があります。
- ・多様な施設が立地し、地区への観光客も多いものの、地区住民と来訪者の交流はあまりなく、交流できる場所もありません。
- ・地域内に買い物等の生活に必要な施設はありませんが、集落が離れて点在しており、公共の交通手

段も少ないため、自家用車がなければ行きづらい状況となっています。

- ・いくつもの清流や豊富な森林資源、歴史的な地域遺産がありますが、環境整備が不十分であり、また、不法投棄など環境保全の課題も発生するようになっています。

V 解決したい課題

1. 自然の豊かさやふれあう場の周知不足

地区内には、自然的資源や景観スポットが豊富に存在することが地域の魅力であり、自然とのふれあいの場としての環境に恵まれています。これらの活用や周知は十分とは言えません。

また、外遊びの思い出がふるさと回帰につながると言われていますが、遊び方や安全意識の変化などにより外で遊ぶ子どもが少なくなっています。

2. 歴史スポットの荒廃と

歴史民俗資料館の活用不足

地区内には、沼田神社に代表される歴史ある神社や史跡が多数あり、山祇神楽をはじめとする伝統芸能活動も盛んですが、周囲の環境整備が不十分であり、由来や歴史を知る人も少なくなっています。また、町内唯一の歴史民俗資料館がありますが、その魅力や活用が住民に浸透していません。

3. 生活上の危険個所やゴミの不法投棄の存在

地区内には、交通量の多い県道や改良整備が必要な個所があり、日常の住民の暮らしにとって危険な場所があります。また、山間部などには頻繁にゴミとなってきました。

4. 世代をまたいで交流する機会の不足

自主防災活動を中心としたコミュニティ活動や地域の行事は、通年行われているものの、生活スタイルの変化から、実施イベントの改善が問われています。また、世代間の交流が少なく、日常的に顔を合わせる機会が減ってきています。

加えて、集落ごとの公民館は住民の集会所としての活用がほとんどで、多世代の交流の場としての活用や誰もが参加しやすい交流機会の創出が望まれています。

5. 既存施設の未活用と御所イベントの不在

地域には歴史ある鶯宿温泉や御所湖、スポーツ施設等があり利用者はあるものの、地区を象徴するような大きなイベントはなく、地域住民の交流の場や、町外から人を呼び込めるような企画運営が求められています。

加えて、観光交流人口は年々減少し、空き店舗となる施設も増えて来ています。温泉やスポーツ、産直などのつながりが弱く各施設を活用しきれないことから、新たな視点での活用を考える必要があります。

また、情報発信も不足していることから、インターネット等を活用した定期的かつ一体的な情報発信が必要です。

VI 活動メニュー

地区の将来像を実現するために想定される方針や取り組み内容は次のとおりです。

自然

方針1. 自然とともに生きる 地域をつくる

①自然を活かした遊びの提供

地域内外の人々に蓮滝や矢櫃溪流、森林や里山など身近で豊かな環境を活かした暮らし方や楽しみ方を伝え、自然に触れ、向き合う機会を増やし、自然とともに生きる地域づくりを目指します。

- まず調査！どの川がどんな遊びに適しているかを実際にやってみて調べる。
- 子ども会キャンプの復活
- 川遊び・山遊びボランティア育成（地域の大人が先生になる）

②自然環境の整備

自然環境を資源として、安全に親しみやすく活用するための整備を進めます。

- 男助山の展望台や川遊び場までの階段、看板、手すりの整備
- 地域の自然・景観マップやルートの作成

歴史

方針2. 地域の歴史を伝承し、 “地域愛”を育てる

①地域遺産の保全

沼田神社に代表される、地域内に数多くある神社や史跡等の地域遺産に誰でも気軽に、安全に来られるよう環境を整えます。

- 未整備の神社・史跡の現地調査、草刈り、施設の手入れ、整備
- 由来・歴史を調査し発信する。

②地域遺産を活かしたイベントの開催

神社や史跡が多数あり、神楽や人形芝居、踊りや太鼓など、伝統芸能活動も盛んな地域です。これらの芸能を次の世代に継承していけるように、地域ぐるみで活動を盛り上げていきます。

また、町内で唯一、歴史を専門に取り扱う資料館があること活かし、イベント情報の発信力を高め、子供達を中心とした地域住民に伝統行事の意義や地域の由来、歴史を浸透させていきます。

- 歴史民俗資料館で行われるイベント情報の積極的な発信をサポートする
- 歴史民俗資料館で子ども体験講座開催
- 各学校、地域で伝わる伝統芸能の発表会、「地域伝統芸能祭」の開催
- 御所の行事、お祭り、施設カレンダーの作成、活用
- 行政区の垣根を越えた伝統行事の継承
- 仁八桜の物語を町民劇場で！

生活

方針3. 暮らしの安全を地域住民が 守る

①“見守り”の強化・充実を目指した横軸連携

住み良い環境で安心して暮らせる地域の実現をめざし、地域内に潜む危険個所の点検や注意喚起を強化します。また消防団や地域コミュニティなど地域における組織同士の連携を強化し、「自

分たちの地域は自分たちで守る」を実現します。

- ▶ 地域にある組織（消防団、防犯交通安全協会、老人クラブなど）をつなぐ「御所ガーディアンズ」の結成
- ▶ 自主防災組織と消防団の連携防災訓練
- ▶ 地域みんなで高齢者見守り活動
- ▶ 交通量が多い場所や通行に注意が必要な場所への注意喚起看板の設置
- ▶ アンケート結果を基に必要としている情報の発信
- ▶ 危険個所や地域の様子を見るための地域点検を実施
- ▶ モデル地区を決めてより深く地域課題を抽出
- ▶ **生活の足となる、交通手段の確保**

交流

方針4. 世代と世代をつなげ、 まとまりのある地域をつくる

①交流しやすい環境づくり

子どもからお年寄りまで地域住民が交流しやすいように必要な情報を提供し、地域内にある公民館、歴史民俗資料館の曲り家や小学校などを活用し、多世代が交流できる環境を整えます。

- ▶ 記念日を地域住民みんなで祝う（**鶯宿で実施している**回覧板に誕生日を書いて回すなど）
- ▶ 地区公民館、地域公民館、コミュニティセンター、歴史民俗資料館の曲り家、小学校を活用した交流会の開催

②交流イベントの開催

子どもからお年寄りまで参加できるお祭り・交流イベントやお年寄りが先生となり生活文化を伝承する学校を開催し、世代間のつながり、地域のまとまりを大切にします。また、行事に参加しやすい体制を整え、行政区同士の連携も検討します。

- ▶ 虫祭りなど子ども主体のお祭りを開催し、行事の由来や伝統の継承
- ▶ お年寄りが先生となり生活文化を伝承する学校開催（縄ないなど）

- ▶ 小学校などを活かした農業体験メニューなど、**人が集まれる場づくりを行う**
- ▶ **地域全体で**そば・きのこの生産、そば打ち体験
- ▶ 体験を通じた技術習得
- ▶ **子供や高齢者も活躍できる体育行事の実施**

定住

方針5. イベントと観光をつなげ、 多くの人を呼び込む！

①既存施設の有効活用とイベントの充実、地域の情報発信力の強化

御所湖広域公園やケッパレランド、鶯宿温泉や野球グラウンドなどスポーツ施設と豊かな自然環境を活かし、多くの人が集う場所となるよう用途を広げ、インターネット等を活用して町内外に積極的に情報を発信します。

- ▶ 既存施設の活用方法の検討、提案（町場地区園地施設、歴史民俗資料館、野球グラウンド、夏場のケッパレランド、屋内ゲートボール場など）
- ▶ ホームページ、SNSなどによる地区全体の情報発信の強化
- ▶ **小学校行事と地域行事のマッチング**

②温泉街の活性化

温泉街の古き良き魅力を地域住民自らが観光客やスポーツ関係者等に改めて伝えていきます。また、誰もが利用しやすく心身の癒しの場となるような環境にし、併せて産直とも連携したサービスの提供を企画することで、地域一体となった温泉街の活性化を目指していきます。

- ▶ 空き家施設の活用（お土産や地元野菜などが購入できる産直施設や企業事務所など）
- ▶ お年寄りのスポーツや各種合宿や研修会などとの組み合わせによる温泉プランの案内
- ▶ 足湯でのふれあいサロンの開催
- ▶ 御所盆踊り大会復活！！（大どんちゃん祭り）
- ▶ **御所グルメ（G級グルメ）を作る**

方針 6. 地域の役と行事を見直し、誰もが関われるまちづくり**①運営体制と役の負担のスリム化**

行事を行う際の役の負担を減らし、誰もが関われる様に運営体制の見直しを行います。誰もが楽しみながら役を持ち、次世代育成を行い、一部の人の負担を減らすよう取り組んでいきます。

- 住民同士の地域に関する話し合いの場作り
- 役職や行事の見直しを行う
- 近隣や行政区、自治会の共同運営を行う話し合いの場作り

②行事の見直し

ライフスタイルの変化から、行事に参加できる人が減少しているため、行事の開催日時の検討や行事そのものの開催方法、行事の組み合わせを工夫するなど、誰もが参加しやすい開催方法を検討する他、参加周知方法を工夫するなど、取り組んでいきます。

- 誰もが参加しやすくなるよう、運動会や体育行事の見直しを行う
- 子供が主体となる行事を企画